

# NAS LAS-MRVシリーズ



## QUICK START GUIDE クイックスタートガイド

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございます。

■本書は製品の導入にあたり初期の設定の方法と本製品にアクセスするまでの手順を簡単にご説明いたします。詳細の設定につきましては付属のCD-ROMに保存されている「ソフトウェアマニュアル(PDF)」をご参照ください。

### 付属品の確認

- ネットワークストレージユニット    1台
- 電源コード                            1本
- ユーティリティCD-ROM            1枚
- ハードディスク識別シール        1シート
- クイックスタートガイド(本書)    1枚
- 保証書/ユーザー登録カード       1枚

### 設置上の注意

○本製品の設置条件は以下の通りです。

項目	動作時	非動作時
温度	+10℃～+35℃	-20℃～+50℃
相対湿度	20%～80%	20%～80%
塵埃	一般事務室条件を許容	

○次のような場所には設置しないでください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温湿度変化の激しい場所
- ・電氣的ノイズを発生する機器の近く(モーターの近くなど)
- ・強磁界を発生する機器の近く(ラジオなど)
- ・ごみ、ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)や塩分を多量に含む空気が発生する場所
- ・周囲が密閉された棚や箱の中などの、通気が妨げられる場所
- ・不安定な場所

### セットアップの準備

本製品のセットアップにあたり、以下のものをご用意ください。

#### ■セットアップ用PC(対応OS)

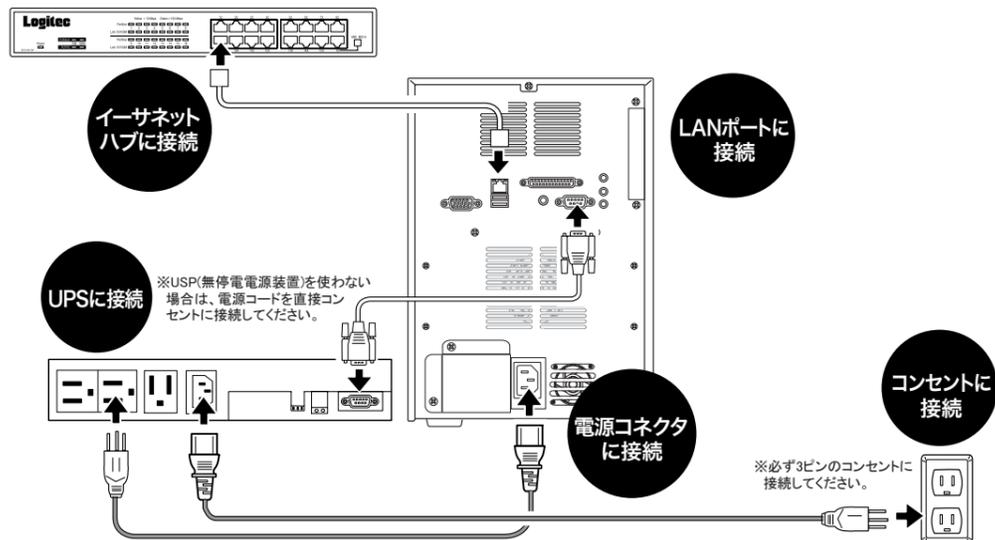
- Windows XP Home Edition/ Professional、Windows Me、Windows 98 (Second Edition 含む)、Windows 2000 SP2以降、Windows NT 4.0 SP6以降
- Mac OS X 10.2 以降、Mac OS 9.0.4以降

上記のいずれかを搭載し、デフォルトのブラウザがInternet Explorer 5.0以降になっているもの。※このスタートアップガイドではWindowsを例にご説明いたしますが、Macintoshでも同様の手順でセットアップを行うことができます。

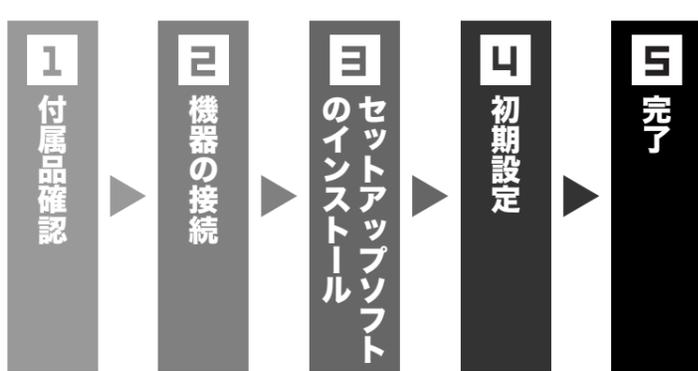
#### ■UTPケーブル

既存のネットワークに接続してセットアップを行う場合には「ストレートタイプ」を使用します。また、セットアップ用PCと直接接続する場合には「クロスタイプ」を使用します。

### 接続例



### セットアップの流れ



## STEP 1 セットアップツールのインストール



ここではWindows環境でのインストール方法についてご説明いたします。Macintosh環境の場合は、CD-ROMをセットすると、右のアイコンがマウントされますので、アイコンをダブルクリックして開き、ご使用のパソコンに搭載されているOSに合わせて「Mac OS 9.x」または「Mac OS X」フォルダをディスクにコピーしてください。

SETUP 1 SETUP 2へ

セットアップ用PCに付属のユーティリティCD-ROMを入れます。

SETUP 2 SETUP 3へ

セットアップランチャーが起動したら、セットアップする製品のアイコンをクリックし「セットアップの起動」ボタンを押します。  
※セットアップランチャーが自動的に起動しない場合にはCD-ROM内の「setup.exe」を実行してください。

SETUP 3 SETUP 4へ

「次へ」を押します。

SETUP 4 SETUP 5へ

使用許諾契約をよく読み、「はい」を押して次に進みます。

SETUP 5 SETUP 6へ

インストール先を選択します。変更がなければ「次へ」を押します。

SETUP 6 SETUP 7へ

インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」を押します。

SETUP 7 SETUP 8へ

「次へ」を押してインストールを開始します。

SETUP 8 基本設定へ

これでインストールは完了です。「完了」を押してインストールを終了したら、製品のセットアップに移ります。

## STEP 2 基本設定

スタートメニューから「プログラム」→「Logitec」→「LAS-MRVシリーズユーティリティ」→「LogitecNAS Assistant」の順にクリックし「LogitecNAS Assistant」を起動させます。

Macintosh環境から基本設定を行う場合は、インストール時にコピーしたフォルダをダブルクリックして開き「LogitecNAS Assistant」をダブルクリックしてください。また、LogitecNAS Assistant起動後の設定については付属CD-ROMに保存されている「ソフトウェアマニュアル(PDF)」をご参照ください。

SETUP 1 SETUP 2へ

「LogitecNAS Finderタブ」が選択されていることを確認し、設定する装置(NAS)を選択して「管理」ボタンを押します。

SETUP 2 SETUP 3へ

DHCPサーバがある場合  
「次へ」を押します。

DHCPサーバがない場合  
デフォルトのパスワード「password」を入力し、使用するネットワーク環境に応じた設定を入力し、適用ボタンを押してください。

SETUP 3 SETUP 4へ

システム管理者のパスワードを入力します。  
※セキュリティ上、パスワードを設定することをお勧めします。また設定したパスワードは忘れないようにしてください。

SETUP 4 SETUP 5へ

サーバ名を入力してください。その他の項目はDHCPサーバのある環境では自動的に設定されます。DHCPサーバのない環境では必要に応じて入力してください。  
※サーバ名は半角15文字以内で、最初の1文字目は英字で設定してください。

SETUP 5 SETUP 6へ

これまでの設定内容が反映されていますので、特に変更の必要がなければ次へ進んでください。

SETUP 6 SETUP 7へ

システムの日付を設定し、次へ進みます。

SETUP 7 SETUP 8へ

使用する言語を選択し、次へ進みます。

SETUP 8 SETUP 9へ

エラー通知用のメールアドレスを設定します。設定しなくても運用可能ですので、必要に応じて設定してください。

SETUP 9 アクセス方法へ

これで基本設定は完了です。終了ボタンを押すと詳細設定を行うためにブラウザが起動します。すぐに運用する場合はそのまま閉じてください。

## STEP 3 アクセス方法

### Windows 98、NT 4.0からのアクセス(CIFS共有)



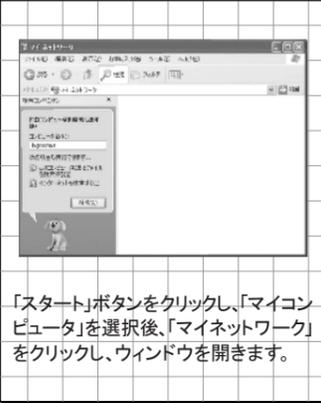
「コンピュータ名(M)」の欄に本製品のIPアドレスかサーバーアプライアンス名を入力し、「検索開始(S)」をクリックします。見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると共有フォルダが現れます。

### Windows Me、2000からのアクセス(CIFS共有)



「コンピュータ名(M)」の欄に本製品のIPアドレスかサーバーアプライアンス名を入力します。「検索開始(S)」をクリックし、見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックします。すると、共有フォルダ(Public)が現れます。

### Windows XPからのアクセス(CIFS共有)



ツールバーの「検索」をクリックし、検索コンパニオンの「コンピュータ名」の欄に本製品のサーバーアプライアンス名かIPアドレスを入力します。「検索(R)」をクリックし、見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると共有フォルダ(Public)が現れます。

### MacOS X(10.0.3以降)からのアクセス(AppleTalk共有)



※サーバホスト名が現れなければ、[アドレス]の欄に本製品のIPアドレスを入力し、[接続]をクリックします。

ユーザー名とパスワードを求めてきますので、本製品にユーザー登録をしていない場合は[ゲスト]のラジオボタンをクリックし、[接続]をクリックします。

※Mac OS 9.0.4以降からのアクセスおよび、FTPでのアクセスについては、「LogitecNASサポートディスク」CD-ROMに収録されているユーザーズマニュアルをご参照ください。

## 取扱い上のご注意

### ■本製品を正しく安全に使用するために

- 本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

### ■表示について

- この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険性がある項目です。

**注意** この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

三角のマークは何かかに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。

丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

差りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

※マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求めの販売店へご連絡いただくか、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

## 警告

### ●万一、異常が発生したとき。

- 本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

### ●異物を入れないでください。

- 通気孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- ※万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

### ●分解しないでください。

- 本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- ※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

### ●表示された電源で使用してください。

- 電源ケーブルは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。

### ●電源コードを大切に

- 電源コードは必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取扱いを誤ると、感電や火災の原因になります。
- 「物を載せない」「引っ張らない」「押し付けない」「折り曲げない」「加工しない」「束ねない」「器具のそばで使用しない」

### ●電源コンセントの扱いは慎重に。

- 電源コンセントは接地形2極差込コンセントをご使用ください。その他のコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。
- コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと電源の故障時などに感電するおそれがあります。
- コンセントは、活性導線(L:Line)、接地導線(N:Neutral)、接地(G:Ground)から成ります。ご使用前に、接地導線と接地が同電位であることをご確認ください。

### ●電源プラグの抜き差しには注意してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず「電源プラグを持って行ってください」。無理に電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- 休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で言うと感電の原因になります。

### ●電源プラグの接触不良やトラッキング。

- 電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
- グラグラしないコンセントをご使用ください。

### ●ケースカバーは取り外さないでください。

- 思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

### ●装置の上に物を置かないでください。

- 本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ビン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。

### ●揮発性液体の近くの使用は避けてください。

- マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。

### ●日本国以外では使用しないでください。

- この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。

## 注意

- 電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は、火災の原因となります。

- 電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。

- 通気孔はふさがないようにください。加熱による火災、故障の原因となります。また、通気孔には埃が付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。

- ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

浴室、洗面台、台所の流し台、洗濯機など水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると発煙、発火や感電の原因になります。使用する場所で、数時間そのまま放置してから使用してください。

装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。

踏み台やブックエンドなど、装置本来の目的用途以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因になります。

ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとけがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱気具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

### ●地震対策について

- 地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓などからの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を保守会社や専門業者にご相談いただき、実施してください。

### ●ねずみ対策について

- ねずみなどによるコンピュータシステムの被害として次のものがあります。
  - ケーブル類の被覆の破損、断線
  - 機器内部の部品の腐食、接続不良、汚損
- これを防ぐため、ねずみ対策を専門業者にご相談いただき、実施してください。

### ●屋外での使用

- 屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

### ●障害装置の交換

- 交換の前にデータのバックアップは必ずお取ください。障害装置の交換では、操作手順の誤りや交換装置の故障により、データが破損されるおそれがあります。
- 障害装置の交換は、必ずネットワークケーブルと電源ケーブルをすべて抜いた状態で行ってください。

## よりよくお使いいただくために

本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク機器を接続する際には、指定および制限事項を確認の上ご使用ください。指定および制限事項を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題が生じるおそれがあります。

## パソコンおよび周辺機器の廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

- ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。
  - パソコンおよび周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。
  - ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
- ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないよう、全データの消去の対策をお願いいたします。消去に関しては、データが完全に消去されるよう、市販の専用ソフトウェアもしくは、専門サービス会社などを利用することをお勧めします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコンおよび周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

## ご注意

- 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求などにつきましては、②項に関わらず弊社でいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- 本製品の仕様、デザインおよびマニュアルの内容については、製品改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他のような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。
- 弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込みなどは考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害などが発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社でいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での(海外に対してを含む)サービスおよび技術サポートを行っておりません。

※MS(R)、Windows(R)は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

## 保守契約サービスのご案内

弊社では通常の修理やテクニカルサポートの他に下記内容で保守契約サービスを行っています。本製品には標準で1年のオンサイト保守が付いています。

### ■基本保守サービス

本製品は標準で1年間のオンサイト保守(弊社規定に基づく平日の昼間のみ)が受けられます。本製品と同梱の保守契約書を弊社サービスセンター宛にご返送ください。また、別売りのオプションで最長5年までのオンサイト保守をご契約いただくことも可能です。いずれの場合も保守契約書をお送りいただかなければ保守サービスを受けることができませんのでご注意ください。

### ■お問い合わせ/お申込み

お問い合わせお申込みは、弊社サービスセンターへご連絡ください。

## ロジテック株式会社 伊那サービスセンター

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268

TEL:026-74-1423 FAX:0265-74-1403

※上記電話番号では技術的なお問い合わせへの対応は行っておりません。

### ■オプションサイト保守パック

本製品標準の1年間のオンサイト保守に加え、購入後、最長5年までのオンサイト保守をご契約いただく

保守パック	期間	内容
SB-LASRA-HPO2	2年間	LAS-MRVシリーズ用2年間保守パック
SB-LASRA-HPO3	3年間	LAS-MRVシリーズ用3年間保守パック
SB-LASRA-HPO4	4年間	LAS-MRVシリーズ用4年間保守パック
SB-LASRA-HPO5	5年間	LAS-MRVシリーズ用5年間保守パック

注:期間中は全て1年間のオンサイト保守期間を含む。

## 安全にお使いいただくために

本製品を安全にご利用いただくために以下の事項を遵守いただきますようお願いいたします。

### ■本製品について

- 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 万一本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

### ■データのバックアップ

○本製品にはミラーリング機能が搭載されておりますが、これはハードディスクの冗長性を高めるものであり、データの保証をさずるものではありません。本製品を安全にご利用いただくためにはデータのバックアップを欠かさず行っていただきますようお願いいたします。

### ■ソフトウェアについて

- 本製品の改良などのための修正パッチを提供しております。最新のソフトウェアのバージョンなどは、弊社ホームページ(<http://www.logitec.co.jp>)にてご確認のうえ、必ず最新バージョンにてご使用いただきますようお願い申し上げます。

### ■UPSへの接続

- 本製品をUPS(無停電電源ユニット)に接続することにより、本製品を多くの障害より回避できる可能性が高くなります。是非UPSの導入・接続をお勧めいたします。

## 動作確認済UPS

メーカー	製品名	製品型番
APC	Smart-UPS	500SU500J
APC	Smart-UPS	700SU700J
APC	Smart-UPS	1400SU1400J

※左記UPSを使用するためには、下記型番のInterface Kitが必要です。

メーカー	製品名	製品型番
APC	Interface Kit	AP9824LJ (UPSケーブル)